

国際ロータリー第2660地区  
2023-24年度のための地区会員増強セミナー  
プログラム

日時： 2023年5月20日(土) 受付 13:00～ 会議 13:30～16:30  
会場： 大阪YMCA国際文化センター 2階 大ホール

司会： 地区クラブ奉仕・拡大増強委員会次年度副委員長 福田 忠

(敬称略)

開会点鐘	ガバナー	宮里 唯子
出席者紹介	地区クラブ奉仕・拡大増強委員会 次年度副委員長	福田 忠
ガバナー挨拶	ガバナー	宮里 唯子
ガバナーエレクト挨拶及び趣旨説明	ガバナーエレクト	延原 健二
「公共イメージ向上とクラブ活性化」	2022・2023年RI研修リーダー	服部 陽子
「クラブ活性化について」	地区クラブ奉仕・拡大増強委員会 次年度委員長	樋口 武英

----- 10分間休憩 -----

クラブ活動事例報告

- ① 「合併の目的と進め方」 大阪御堂筋本町RC 副会長 岡田 俊作
- ② 「少人数の魅力あるクラブづくり」 高槻西RC 次年度幹事 下園 大介
- ③ 「衛星クラブ創設について」 大阪西南RC 衛星クラブ委員長 松崎 勝司

講評	2022年RI研修リーダー・第3地域ロータリー財団地域コーディネーター補佐	
	パストガバナー	四宮 孝郎
閉会点鐘	ガバナー	宮里 唯子

◆ 配布資料一覧 ◆

- 【資料①】 出席者名簿
- 【資料②】 樋口次年度委員長ご発表資料（クラブ活性化について）
- 【資料③】 2023-24年度 第2660地区年次目標
- 【資料④】 2023-24年度 第2660地区ビジョン+地区中期3ヶ年目標

(敬称略)

ガバナー	宮里 唯子	茨木西	地区研修委員会 委員	樋口 信治	大阪
パストガバナー	岡部 泰鑑	大阪城南	〃	新堂 博	大阪城北
パストガバナー	高島 凱夫	大阪中之島	〃	藤井 眞澄	大阪南
パストガバナー 米山記念奨学会 評議員	松本 進也	大阪北	地区研修委員会 幹事	清水 久博	大阪南
パストガバナー 米山記念奨学会 理事	山本 博史	大阪南			
パストガバナー 2022年RI研修リーダー 第3地域ローラー財団地域コーディネーター補佐	四宮 孝郎	大阪西南	クラブ奉仕・拡大増強委員会 委員長	加茂 次也	東大阪
パストガバナー 第3地域ローラー公共イメージコーディネーター補佐	簡 仁一	茨木	クラブ奉仕・拡大増強委員会 次年度委員長	樋口 武英	大阪東
ガバナーエレクト	延原 健二	大阪大淀	クラブ奉仕・拡大増強委員会 副委員長	金子 勝信	東大阪中央
ガバナーノミニ	大橋 秀典	東大阪東	クラブ奉仕・拡大増強委員会 副委員長	石橋 英司	東大阪
			クラブ奉仕・拡大増強委員会 副委員長	藤間 好太郎	大阪水都
I.M.第1組ガバナー補佐エレクト	武枝 敏之	豊中	クラブ奉仕・拡大増強委員会 委員	下宮 義弘	大阪東南
I.M.第2組ガバナー補佐エレクト	井伊 圭一郎	吹田西	クラブ奉仕・拡大増強委員会 次年度副委員長	(福田 忠)	大阪難波
I.M.第3組ガバナー補佐エレクト	岩本 昌治	くずは	クラブ奉仕・拡大増強委員会 次年度副委員長	市村 優次	東大阪
I.M.第5組ガバナー補佐エレクト	上田 勝嗣	大阪西南	クラブ奉仕・拡大増強委員会 次年度副委員長	浜田 晋	大阪北
I.M.第6組ガバナー補佐エレクト	中島 清治	大阪天満橋	クラブ奉仕・拡大増強委員会 次年度副委員長	堀田 遥介	大阪北梅田
I.M.第1組ガバナー補佐ノミニ	長尾 依子	大阪そねざき	クラブ奉仕・拡大増強委員会 次年度委員	武島 秀吉	大阪御堂筋本町
I.M.第3組ガバナー補佐ノミニ	岡田 光司	寝屋川	クラブ奉仕・拡大増強委員会 次年度委員	青山 総一郎	大阪南
I.M.第4組ガバナー補佐ノミニ 地区代表幹事	下條 泰利	大阪南	クラブ奉仕・拡大増強委員会 次年度委員	山下 賢一	大阪西
			クラブ奉仕・拡大増強委員会 次年度委員	吉田 千里	大阪西南
次年度地区代表幹事	前田 要之助	大阪東淀ちゃやまち	クラブ奉仕・拡大増強委員会 次年度委員	帆足 嘉寿大	東大阪中央
次々年度地区代表幹事	吉崎 広江	東大阪東			
次年度地区副代表幹事	白野 孝明	大阪大淀			
次年度地区副代表幹事	磯田 郁子	大阪東淀ちゃやまち			
次年度地区幹事	木下 基司	吹田西			
次年度地区幹事	木田 昌宏	吹田西			
次年度地区幹事	橋本 芳信	吹田西			
次年度地区幹事	宮本 里恵	大阪中央			

2023-24年度のための会員増強セミナー 出席者一覧 ②

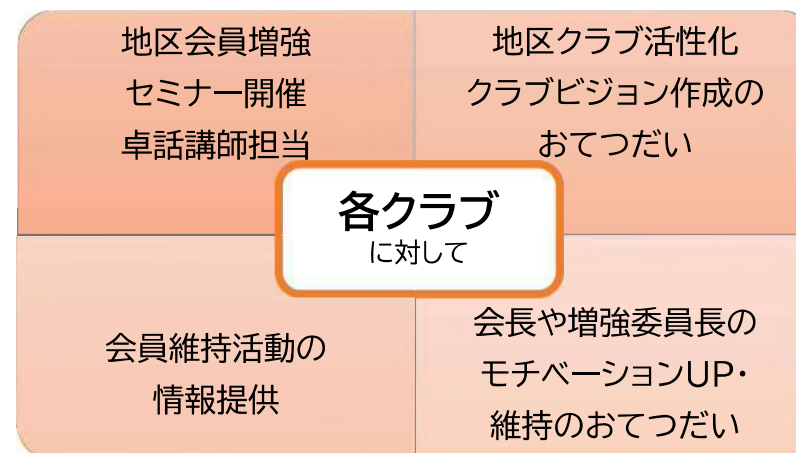
(敬称略)

IM	クラブ名	会長エレクト(代理含)	増強担当(代理含)	IM	クラブ名	会長エレクト(代理含)	増強担当(代理含)	
1組	池田	林原 みどり	新見 香	4組	東大阪	大島 規弘	欠席	
	池田くれは	高原 誠一郎	今井 卓哉		東大阪東	城戸 総一郎	古川 靖明	
	箕面	黄堂 泰昌	西田 泰		東大阪西	柳山 稔	中野 博之	
	箕面千里中央	植田 豊實	欠席		東大阪中央	名村 美紀	岩崎 史郎	
	大阪水都	(藤間 好太郎)	欠席		東大阪みどり	木戸 章由	欠席	
	大阪中央	荒川 弘也	福田 敬子		大阪柏原	高井 康伊	山本 光勇	
	大阪北梅田	塚本 英	木村 千恵		大阪御堂筋本町	木村 貴広	横山 倫子	
	大阪北	廣瀬 哲三	中井 正幸		大阪難波	福田 忠	欠席	
	大阪大淀	遠越 英行	岩元 大輔					
	大阪そねざき	欠席	欠席		大阪ネクスト	大石 和紀	吉岡 泰造	
	大阪梅田	森 治	欠席		大阪南	中村 剛	三原 幸一郎 神藤 佳浩	
	大阪梅田東	藤原 秀浩	欠席		八尾	児林 秀一	山陰 恭志	
	豊中	宮田 幹二	(武枝 敏之)		大阪堂島	石津 茂貴	切原 毅	
	豊中千里	宮前 守寛	藤谷 和憲		大阪フレンド	森嶋 林太郎	欠席	
豊中南	水野 茂	初波 貴大	5組	大阪西北	芦谷 裕一	阿江 秀典		
茨木	鈴木 一正	小阪 博史		大阪リバーサイド	阪口 太	高士 誠司		
茨木東	塩谷 嘉太郎	阪上 博史						
茨木西	森 拓哉	岩上 高幸		大阪船場	林 拓	坂本 田鶴子		
大阪東淀ちゃやまち	乾 泰一郎	(磯田 郁子)		大阪心斎橋	田坂 敏章	小笠原 宣男 日野 年澄		
大阪淀川	欠席	西川 正一		大阪西南	吹田 康雄	高田 充史		
千里	山本 秀策	丸岡 敏明						
千里メイプル	欠席	欠席		大阪ユニバーサルシティ	佐田 幸夫	小林 知義		
摂津	望田 成彦	佐藤 剛司		大阪アーバン	下出 一	今村 聡		
新大阪	菅本 泰年	欠席		大阪うつぼ	的場 順子	加藤 浩二		
吹田	疋田 陽造	井上 博之		大阪西	小寺 隆弘	欠席		
吹田江坂	吉野 通洋	山崎 睦治		6組	大阪	田所 伸浩	嘉納治郎右衛門	
吹田西	阿部 吉秀	堀 豊			大阪イブニング	岩井 晶博	長谷川 孝夫	
高槻	河合 一人	白石 純一			大阪平野	阿部 洋治郎	欠席	
高槻東	宮崎 正人	高木 大介	大阪城南		濱田 由弘	石濱 宏章		
高槻西	西井 忠義	平野 高春	大阪中之島		戸田 佳孝	井本 万尋		
2組	大東	欠席	中 恒夫		大阪大手前	欠席	山本 依津子	
	大東中央	欠席	寺田 晟二		大阪咲洲	欠席	石田 元裕	
	枚方	欠席	林 武		大阪東南	松崎 達郎	碓 洋司	
	門真	和田 圭史	辻岡 昌美		大阪天満橋	箕村 保	高橋 俊起	
	交野	西田 輝	佐藤 義也		大阪天王寺	阿武 修平	西田 昌紘	
	香里園	浅井 勝彌	柴田 正夫		大阪帝塚山	塩中 一成	東 光宏 南 光子	
	くずは	白井 博巳	松田 伸一					
	守口	江端 将哲	松本 茂		R	大阪難波	西野 悠	
	守口イブニング	柳本 幹男	欠席		A	大阪天満橋		彌富 泰宏
	寝屋川	竹本 憲司	大東 範行	C				
	大阪東	山田 康雄	石田 貴志					
	大阪城東	山本 健策	川中 義裕					
	大阪城北	高瀬 久美子	藤田 喜枝					
	大阪鶴見	源 壽美子	欠席					

地区関係出席者数	43名
クラブ出席者数	137名
合計	180名

## 地区クラブ奉仕・拡大増強委員会の役割について

基本的には各クラブが自主独立してクラブ運営を行うためのサポート役です。



2023-24年度にむけての  
地区会員増強セミナー

## クラブ活性化について

2023年5月20日

2023-24年度

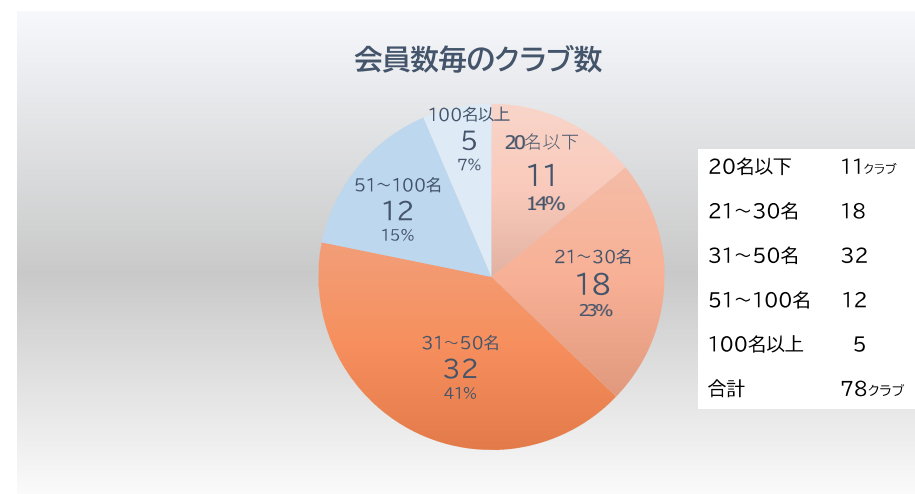
RI第2660地区クラブ奉仕・拡大増強委員長

樋口武英 (大阪東RC)

## 今年度の活動方針について

2023-24年度の延原ガバナーの方針のひとつに、少人数クラブの奉仕活動の協業がありますので、参考までにクラブ人数を調べてみますと

## クラブ会員数の分析



## 会員数が少ないクラブの活性化

50名以下のクラブが61クラブあり、全体の78%を占めています。30名以下に絞りますと29クラブあります。

大きなクラブは独自に会員増強に力を発揮され、かつ衛星クラブ提唱やRAC提唱によるクラブの活性化を進められていますので、2023-24年度当委員会としては**少人数クラブの増強や活性化**のお手伝いができたらと考えています。

5

## 今年度の活動方針について

### 1. 統制

毎月月末の金曜日に委員会を開催する。

会場 ガバナー事務所 時間 16:30~17:30

### 2. 活動方針

- ① クラブ支援活動は、2660地区クラブを**規模別に3グループに分けて支援活動の基本**とする。三つのグループにわけ理由は、100名以上のクラブと人数の少ないクラブとは抱えている問題が異なると推測されます。その為に今年度は、**100名以上、50~100名、50名以下**に分けて対応します。本来ならば20名以下のクラブに焦点をあてて支援活動の必要がありますが、本年度は50名以下で包括して考えます。
- ② 3つに分けたクラブをそれぞれ各副委員長に担当してもらいます。
- ③ 依頼のあった卓話は原則としてそれぞれのクラブ担当の副委員長が卓話をする予定です。
- ④ 会員増強活動に成功されているクラブを規模別に調査分析を行い、当委員会で議論して、他クラブに情報提供を水平展開していきます。
- ⑤ クラブビジョン作成の支援活動をする前に、各クラブの状況調査をします。そのうえで時間をかけてクラブビジョン作成のお手伝いをします。

6

## 会員数が少ないクラブの活性化

まず、そのヒントになればと思い、私が進めていますビジネスモデル「群れの経営」のお話をさせていただきます。

7

群れについて

8

## 群れについて

わたしは37年前に新しいビジネスモデルを考え事業を起こしました。創業以来小さな企業が永続的に存続するためにはどうすれば良いか考え続けていました。

ある時に出会ったのが、ピーター・ミラー著作・東洋経済新報社発行の『群れのルール』でした。

9

## 群れについて

私が着目したのは虫や鳥たちの習性でした。個ではなし得ない機能を集団で生み出す、賢い群れのルールがヒントになりました。

その法則のシンプルさ、効果の多様さ、柔軟さに感心しこれを経営思想に置き換え「群れの経営」に進化させたのです。おかげで現在全国18社とグループを組み活動できるまでになりました。

10

## 群れについて



11

## 群れについて

自然界の鳥や魚や虫たちは、個ではなしえない機能を集団で生み出す賢い群れのルールがあります。

そこには一見複雑なシステムが働いていそうですが、共通して簡易な4つのルールがあることがわかりました。

(参考 ピーター・ミラー『群れのルール』2010年東洋経済新報社)

12

## 「群れ」に共通する4つのルール

1. 現場の知識を重視する
2. メンバー間で相互作用を繰り返す
3. 単純なルールを維持する
4. メンバーの行動に適度な多様性を残す

13

## 群れの経営

14

### ビジネスモデル・群れの経営

わたしは、40歳で「エンジニアリングサービス業」という独自のビジネスモデルを考え会社を創業しました。さらに10年の後に「全国サービスネットワーク」を構築しようと考えました。

それを「FEC サービスネットワーク」と呼び、全国拠点となっていた会社10社を選んでそれをFECグループと位置付けました。そのグループの中で打ち合わせをしているうちにある気づきが有りました。

15

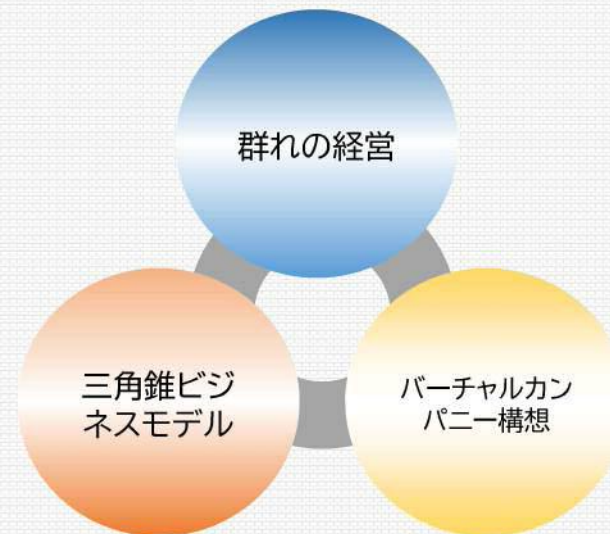
### ビジネスモデル・群れの経営

ひとつは、私どもの業界は10名～50名位の規模の会社がほとんどです。組織力もなく体力のない会社をどのようにまとめていくか悩みました。

もうひとつは、私は当初から、グループ各社がそれぞれの役割を分担し一緒になって成長していこうと考えていましたが、グループと言う表現をとったために、相手の会社はわたしの傘下に入れられる、将来吸収されるのではと不安を感じさせてしまったのです。

16

それを解決したのが「群れの経営」をさらに進化させた「三角錐ビジネスモデル」と「バーチャルカンパニー構想」や「FEC全国サービスネットワーク構想」です。



## FEC全国サービスネットワーク

『群れの経営』に賛同して参加した全国の専門技術サービス店。  
2020年10月現在18社。最終的に各都道府県に1社の設定が目標。



サービスネットワーク会社	本社
1 株式会社ウチダ電商	北海道
2 株式会社システムズ	宮城
3 株式会社福島映像サービス	福島
4 長野県防災システム株式会社	長野
5 大和電建株式会社	福井
6 株式会社電音システム	愛知
7 株式会社カズデン	三重
8 東洋技研株式会社	大阪
9 株式会社プロサウンド	岡山
10 北辰映電株式会社	広島
11 山陽特機	山口
12 西日本サービス株式会社	香川
13 株式会社松永通信	愛媛
14 九州音楽放送株式会社	福岡
15 株式会社アポロエンジニアリング	大分
16 有限会社宮崎総合通信システム	宮崎
17 有限会社九電通	鹿児島
18 株式会社ピージーエム沖縄	沖縄

ビジネスモデル「群れの経営」を進化させて、「三角錐ビジネスモデル」と「バーチャルカンパニー構想」を考え出し経営をしています。本日はきっかけの説明なので「群れの経営」のみを簡単に説明させていただきました。



## クラブ活性化について

21

### クラブの活性化

👉 ビジネスモデル「群れの経営」の考え方をヒントにすれば、規模が小さいクラブであっても、高齢化、とりまく環境の変化、会員数の減少による組織の衰退等の諸問題を克服し、クラブ独自の歴史や文化を保ちつつ、地域に根ざした活動を活力を持って続けることができるのではないかと考えます。

22

### クラブの活性化

👉 クラブ同士が力をあわせてできる事を考えてみますと  
例えば

1. 合同例会を開催する
2. 共同で会員増強をする
3. 各委員会活動を分担する
4. イベントや勉強会を合同で開催する
5. 例会場や事務局を共同で利用する
6. 週報や機関誌を合同で発行する
7. クラブ同好会活動を共同して行う

23

### クラブの活性化

👉 成果をあげるに一番重要なことは  
**「リーダーの熱意と思い」**  
そして  
「まず第一歩を踏み出す」ことであると考えます。  
本日出席されておられるリーダーの皆様にご期待して話を終わらせて頂きます。

24

## 共に成長していきましよう 仲間をふやし



25

## 参考資料

26

1. RI2660地区の会員数の推移
2. 最近9年間の年初(7/1)会員と入退会者数
3. 少人数クラブで本年度会員増強に成功しているクラブ
4. 20人以下のクラブ
5. 会員種類の多様化に対する対応
6. 会員増強の要点は？
7. 会員増強のポイント(1)(2)
8. ロータリーの魅力
9. クラブ戦略計画の推進
10. ロータリーのモチベーションアップ
11. ロータリーを身近にする意図と捉
12. 女性会員と若年齢会員の増強

8～12 (国際ロータリー第2地区 ロータリーコーディネーター 岡村剛 参照しました)

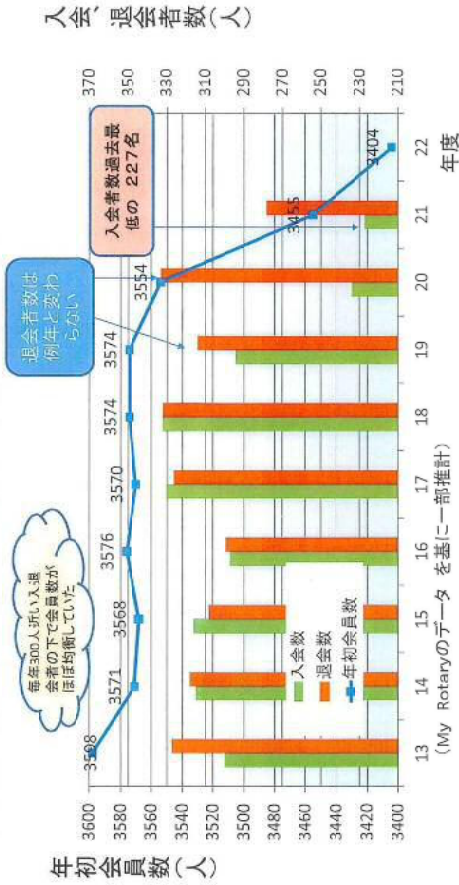
27

## RI第2660地区の会員数の推移



28

# 最近9年間の年初(7/1)会員と入退会者数



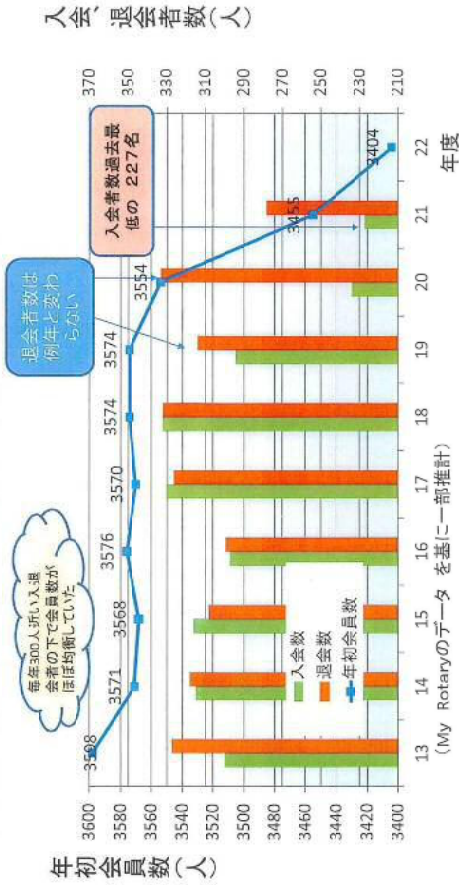
# ○少人数クラブで本年度会員増強に成功しているクラブ

IM第1組	期首	23/3末
箕面RC	30	34
大阪梅田RC	35	45
大阪梅田東RC	28	32
IM第2組		
千里RC	24	27
高槻RC	42	47
高槻東RC	33	37
高槻西RC	16	19

# ○20人以下のクラブ(23/3末)

IM第1組	箕面千里中央RC	17
IM第2組	大阪東淀ちやまちRC	16
	大阪淀川RC	17
	千里メイプル	19
IM第3組	高槻西RC	19
	香里園RC	15
IM第4組	東大阪中央RC	18
	東大阪みどりRC	19
IM第6組	大阪イブニングRC	13
	大阪大手前RC	17
	大阪咲洲RC	20

# 最近9年間の年初(7/1)会員と入退会者数



# 期首

IM第3組	期首	23/3末
寝屋川RC	35	38
IM第4組		
東大阪みどりRC	17	19
IM第5組		
大阪リバーサイドRC	39	33
大阪堂島RC	39	43
IM第6組		
大阪東南RC	30	32
大阪天王寺RC	46	51

# 会員種類の多様化に対する対応

2022年6月14日現在

IM	クラブ数	行ったクラブ		行わないクラブ		職業分類と 異同	未回答
		行った	行かない	行った	行かない		
第1組	15	4	4	6	1	1	1
第2組	15	4	6	5			
第3組	14	2	9	1	1		
第4組	13	3	2	1	2		5
第5組	11	2	4	3			2
第6組	11	1	5	4			1
計	79	16	30	20	4		9

# 会員増強の要点は？

## クラブリーダーの熱意

(会長、幹事、増強委員長など理事役員)



## 会員全員のやる気

## 会員全員で取り組める組織としての仕組み

# 会員増強のポイント

## ○クラブビジョンの策定

- ・RIの急激な変化の中での自クラブの立ち位置を見定める
- ・10年先の自クラブの理想像を考える
- ・戦略計画委員会を中心に策定  
(最低会長・会長エレクト・次々年度会長を入れる)
- ・自クラブの自己診断(会員の満足度チェック)

## ○戦略計画の策定と見直し

- ・クラブビジョン実現のための3～5年計画(具体的数値目標)
- ・PDCAサイクルの強化(Plan→Do→Check→Act)

# 会員増強のポイント

- 候補者のデータベース
  - ・候補者のリストアップ、更新・棚卸、確実な引継ぎ
  - ・全員参加(役員、担当委員だけに任せるのではなく)  
(少人数グループによる推薦活動も効果的)
  - ・理事会メンバーによる率先した候補者推薦
- PRと候補者への勧誘
  - ・パンフレットなどツールの作成と活用
  - ・継続的に何度でも、ある程度は強引に！
  - ・例会、親睦活動などへの招待
- 人会後のケア(新入会員に対するケアを含め)
  - ・クラブに慣れるまでのきめ細かいケア
- 退会防止
  - ・退会意向の早期把握と慰留
  - ・退会理由の分析とフィードバック
  - ・声掛け、コミュニケーション
  - ・転勤、退職の後任の推薦
  - ・会員種類の多様化による対応

トップのリーダーシップは極めて重要

- ・しっかりとした目標と計画をたてる
- ・例会等でたえず語りかけ会員をその気にさせる
- ・色々な増強の話し合いの機会を設ける
- ・常に増強活動状況をフォローし、状況を把握する
- ...

### J-3 ローターリーの魅力

魅力項目	比率 %	自分のため	クラブのため	社会のため
1 異業種交流ができる	70.7	○	○	○
2 生涯の友人・仲間ができる	70.0	○	○	○
3 自己研鑽と学習・成長の機会	55.1	○	○	○
4 初会が楽しい	52.3	○	○	○
5 奉仕活動ができる	40.0	○	○	○
6 心からの親睦が得られる	37.5	○	○	○
7 奉仕の理念を信じている	23.9	○	○	○
8 ビジネスに活用できる	17.4	○	○	○
9 世界の仲間とつながっている	13.5	○	○	○
10 リーダーシップを発揮できる	9.3	○	○	○
11 世界的問題の解決に貢献できる	8.0	○	○	○
12 寄付が有効活用できる	6.9	○	○	○



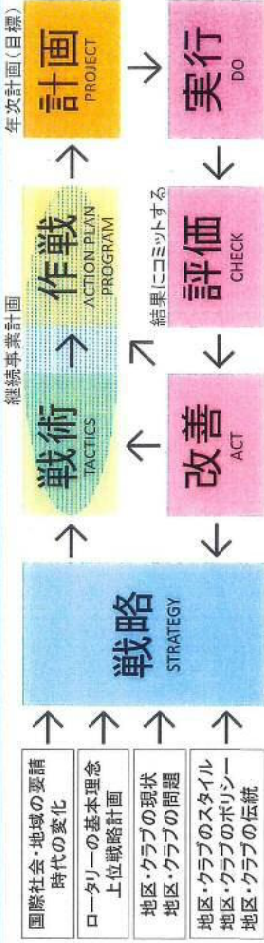
出典は日本のロータリー100周年実行委員会によるアンケート結果、2017年11月号

Made by ALBANCHI DESIGN (2022) P06

### J-21 クラブ戦略計画の推進

#### ■戦略計画“STRATEGIC PLAN”って何？

- ・RIが提唱しているロータリーの未来に向けた活動指針のことである(この後、RIの戦略計画を示す)
- ・RIは「世界でよいことをしよう」というモットーに沿って様々な活動をしているが、具体的なことはローカルクラブに委ねられている
- ・RIはボリオン戦略のように奉仕の成果を集約することによって社会に対して効果的にアピールするということを指している
- ・ロータリーの地域社会に向けた奉仕活動を通じて、ロータリーという組織の存在自体を知ってほしいと考えられている
- ・そのためには、RIの戦略だけでなく、各クラブにおける戦略計画も必要となる
- ・各クラブにおける毎年の人事に伴う活動方針の振幅をおさえ、持続的に活動を積み重ねることによって、奉仕の成果が拡大する
- ・3~5年後のクラブの姿を描き掲げることによって、クラブメンバーが意識を共有することが大切である
- ・ロータリーの原点及びクラブの歴史やスタイルを守りながらも、未来に対する希望や夢をビジュアル化していきましょ



Made by ALBANCHI DESIGN (2020) P03

### J-30

課題	状況
1 脆弱体質 (無気力・不勉強)	情性的なロータリーライフ 收購を逃げ回る リーダー意識の欠如 保守的な団体なので何と何と変える必要はない、という思考停止 (新しさへの拒否反応) 職業奉仕 決闘23-34 親睦中心で良い、という安直 奉仕は力まず程々にしておこう、というイメージ 奮起と躍らず 各クラブの選任は嬉しいにもかかわらず、あえて美辞に目を向けない(勇気なかったことしておく) ビジョンレス 年交代制であるがゆえに、将来に対する危機感が伴わない無責任 具体的な行動を促すのに、数年を要する
2 会員減少	会員の増強に努力しても、退会者も多数いるため、会員維持が難しい かつては熱中していたも何もなくなって、入会希望者が列をなしていた、という錆びついた栄光と懐古 最近は無気力が悪いから仕方がない、という諦観 ロータリークラブは選ばれた企業人の集団である、という自己満足的なプライド 女性の入会は認めない、というかたくなな固執
3 会員高齢化	一年経ては自然の摂理にしたがって一年齢を加えていくので、平均年齢はオートマチックに増加していく 老年層層比率が高くなってしまふと、翌年年齢が入会しにくい雰囲気が出る 若年層層の団体組織離れが進行しており、入会を期待される青年会議所やロータリーアクトも厳しい状況にある
4 奉仕の停滞	年輩位の場当たり(思い付き)又はマンネリな無気力奉仕 目的意識・目標意識の欠如 寄付ゼロクラブ・寄付ゼロ会員(ロータリーに入会してから1円も寄付をしたことがない会員)

Made by ALBANCHI DESIGN (2020) P05

### EPilogue: ローターリーのモチベーションアップ

#### J-4

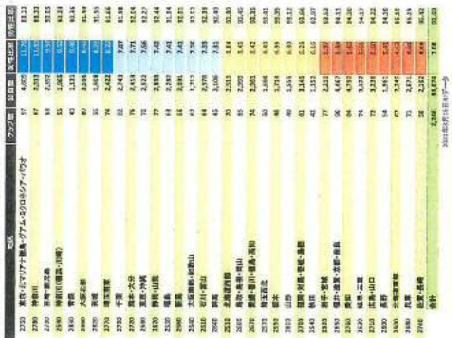
#### ロータリーを身近にする(秘)極意と掟

- 極意1 休まず例会に出席しよう**  
ロータリーを楽しむための第一歩です  
掟...ロータリーアンの権利(スベシャルチケット)を無駄にしない!
- 極意2 親しい友達を増やそう**  
仲間意識やロータリー観を共有します  
掟...♪笑顔笑顔で語り合おう♪ 心で結び合おう♪
- 極意3 ポジティブな姿勢で取り組もう**  
“その気”が自分の成長の成長のチャンスです  
掟...返事は、「ハイ」か、「イエス」か、「よらこんで」!
- 極意4 家族にロータリーを伝えよう**  
ロータリーの原動力は友情と家族です  
掟...家族と共に、ロータリーの親睦・奉仕に加わろう!
- 極意5 ロータリーモメントを語ろう**  
ロータリーの魅力を広げよう  
掟...会社で、地域で、ロータリーでの感動体験を話そう!

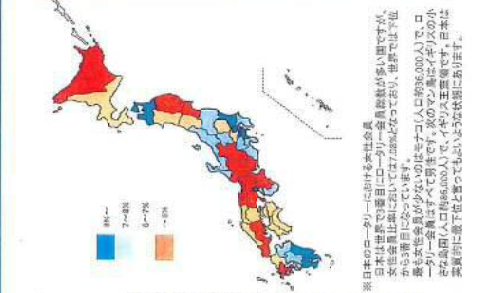
Made by ALBANCHI DESIGN (2020) P03

## 女性会員と若年会員の増強

ロータリー女性会員比率(日本・地区別)



## ジェネレーションの特性→ギャップ感



科学技術の発展に伴う世代が狭まった人々が同じ方向を向いて歩んでいる。世代間のギャップ感を感じていない。ロータリーは、そのギャップを埋めることに貢献し、上層年齢が持つ世代の影響力の5割以上を若い世代に渡す必要がある。異なる世代間のギャップ感を感じないまま、社会を築くことは、自分自身に悪影響を及ぼす。

通信革命により、情報化・高度化が進んでロータリーは、従来のやり方を破ることで、ロータリーのイメージアップを実現し、多様な価値観を受け入れることで、人々の意識を高め、社会を築き、自分自身に悪影響を及ぼす。

- ・環境意識の向上
- ・多様な価値観を受け入れる
- ・環境意識の向上
- ・多様な価値観を受け入れる
- ・環境意識の向上
- ・多様な価値観を受け入れる
- ・環境意識の向上
- ・多様な価値観を受け入れる

ロータリーは、上層年齢が持つ世代の影響力の5割以上を若い世代に渡す必要がある。異なる世代間のギャップ感を感じないまま、社会を築くことは、自分自身に悪影響を及ぼす。

## 2023-24 年度 年次目標

2023-24年度ガバナー 延原 健二（大阪大淀RC）

### 1. より大きなインパクトをもたらす

- ❖ 世界ポリオデーにポリオ根絶にちなんだRAC中心のイベントを行い、ロータリーファミリー、RCと協働し、発信します。
- ❖ 財団補助金(地区補助金・グローバル補助金)活動を実施し、発信します。
- ❖ ロータリアンは財団寄付目標(年次基金寄付150ドル、ポリオプラス基金寄付50ドル、恒久基金寄付30ドル)を達成します。
- ❖ RACは、クラブ又は個人からの寄付合計\$100の財団寄付を達成します。

### 2. 参加者の基盤を広げる

- ❖ 既存のパートナーシップを強化し、新たなパートナーシップを築きます。
- ❖ 革新的クラブ、活動分野に基づくクラブ(衛星クラブ)の設立をめざします。
- ❖ ロータリーとロータリー会員は世界を変える行動人であるという認識と理解を深めます。

### 3. 参加者の積極的なかわりを促す

- ❖ クラブのビジョンや中期計画を作ります、あるいは必要に応じて見直します。
- ❖ 例会、フォーラム、研修、IMロータリーデー、フレッシュ・ロータリアン研修交流会、その他行事をさらに魅力的な学びの機会とし、会員参加促進を目指します。
- ❖ RCとRACの参加者の連携を強めます。
- ❖ DEI「多様性・公平さ・インクルージョン」へのコミットメントを強化します。
- ❖ クラブや個人のロータリーの賞の受賞を目指します。
- ❖ 米山記念奨学会を支援します（ロータリアンは寄付目標30,000円）。

### 4. 適応力を高める

- ❖ テクノロジーを利用して例会を実施し、交流や親睦を深め、奉仕活動を実行します。
- ❖ 会員全員が My Rotaryに登録し、RIからの情報収集に努めます。

2022-23年度より有効

私たちロータリアンと\*ローターアクターは；

- ◆ 持続可能な良い変化を生むために、多様性を重んじ、あらゆる側面で公平さを促進し、異なる考えや価値観をもつ人々による貢献を大切に、DEI「多様性・公平さ・インクルージョン」を実現します。
- ◆ RI テーマを理解し、地域の特性にあった活動を通じて、それぞれが「魅力ある・元気ある・個性ある」クラブになる事を目指します。
- ◆ ロータリーの原点である親睦と奉仕を根幹とし、世界および地域社会で良い変化を生み出します。
- ◆ 世界の未来を担う青少年の活動を支援し、若きリーダーの育成に努めます。

\* 2019年規定審議会は国際ロータリーの組織規定を改正し、ローターアクトクラブが国際ロータリーの加盟クラブになりました。

### 地区中期3ヶ年目標 (2022-23~2024-25)

#### 1. より大きなインパクトをもたらす

- ポリオ根絶のために\*アドボカシー活動とファンドレイジングを推進します。
- 地域調査に基づいた、持続可能でインパクトをもたらす奉仕を強化します。

#### 2. 参加者の基盤を広げる

- メディア、ソーシャルメディアや地域社会で、クラブと地区のインパクトを紹介し、公共イメージ向上を推進します。
- あらゆる背景を持つ人、人生のさまざまな段階にある人のためにロータリーへの新しい経路を開き、多様な人々の参加を促し、その貢献を尊重します。

#### 3. 参加者の積極的なかわりを促す

- 全クラブが将来のビジョンや中期計画を策定するよう推奨します。
- さらに多くの会員が惹きつけられる新しいプログラムや行事、学びの機会を創出します。
- クラブが毎年ロータリー賞の受賞を目指すことを推奨します。

#### 4. 適応力を高める

- 変わりゆく世界で国際的な発言力を高め、新しい機会を追求し、ロータリアンやローターアクターが地域で、国際社会で活躍するためのより多くの道をつくっていきます。
- 社会により良く奉仕するために、新しい人たちにオープンになり、テクノロジー、社会の変化に迅速かつ恐れずに適応していきます。

\* アドボカシー活動とは一人ひとりがポリオについて理解をし、解決のためにできることを政府や社会に訴えていくことです。